

## 第6回（平成20年度）IODP部会・執行部会 議事次第（案）

日時：2008年11月26日（水） 14：30～17：30

場所：海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

### 出席者（敬称略）

執行部：川幡穂高（東京大学）阿波根直一（北海道大学）荒井晃作（産業技術総合研究所）  
安間了（筑波大学）池原実（高知大学海洋コア総合研究センター）  
井上麻夕里（東京大学海洋研究所）坂本竜彦（海洋研究開発機構）山崎俊嗣（産業技術総合研究所）  
山田泰広（京都大学）山本啓之（海洋研究開発機構）

文部科学省海洋地球課：堀正彦 笹山岳大  
海洋研究開発機構 国際課：花田晶公  
海洋研究開発機構 CDEX：川村善久 江口暢久

事務局：中山敦志 加賀谷一茶 梅津慶太 吉岡由紀

### 欠席者（敬称略）

執行部：北村晃寿（静岡大学）小平秀一（海洋研究開発機構）高澤栄一（新潟大学）日野亮太（東北大学）  
松本剛（琉球大学）

### 議事次第

#### 1. SAS 関連

- ・MEXT-NSF(081106)会議報告〔文部科学省〕
- ・Ad-hoc Review committee 報告〔事務局〕 [資料 1]

#### 2. 乗船研究関連

- ・NanTro SEIZE 2 航海募集結果 [資料 2-1]
- ・その他航海
- ・Asian Participation について [資料 2-2]

#### 3. 学術交流関連

- ・日・独掘削科学研究交流推進制度の開始について〔川幡部会長〕 [資料 3-1(1),3-1(2)]
- ・J-DESC コアスクール\_2 コース企画案承認〔池原委員〕
  - コア解析基礎コース

[資料 3-2(1)]

- コア同位体分析コース [資料 3-2(2)]
- ・成果公表助成の開始について〔川幡部会長〕 [資料 3-3]
- ・JPGU レギュラーセッション「地球掘削科学」について

[追加資料 2]

#### 4. 普及広報関連報告

- ・IODP 普及キャンペーンの今後の開催予定について〔事務局〕 [資料 4]
- ・ISSM 2008 展示報告〔事務局〕

#### 5. Domestic INVEST WS 関連〔川幡部会長ほか〕

- ・テーマ別 WS 開催準備状況 [資料 5-1, 5-2]
- ・全体 WS 開催について

#### 6. その他

- ・会員提案型活動経費 制度のあり方
- ・IODP 応援メッセージ送付報告 [資料 6-1,6-2]
- ・J-DESC 経費執行状況について〔事務局〕 [参考資料 1]
- ・次会執行部会日程 等

## 議事録（案）

### 1. SAS 関連

#### ・MEXT より報告〔文部科学省〕

堀企画官より最近の MEXT における IODP に関係する動きについて報告がなされた。

- ・ 11 月 6 日に NSF-MEXT 会合が開催され、2013 年以降の IODP をどうするかについて話し合われた
- ・ JR 号は 3 月より IODP 航海を開始できる見通しが立ったとの話が NSF よりあった
- ・ 2013 年以降に向けた IODP 計画の更新に向け、12 月のはじめに国内の関係者を集めて IODP の将来について話し合う懇談会を開催する予定

#### ・Ad-hoc Review committee 報告〔事務局〕

事務局より資料 1 に基づき、標記の件について報告がなされた。

- ・ 10 月 28 日～11 月 1 日にワシントンにて開催
- ・ 予算不足から掘削船の通年運行が出来ない状況になっており、IODP の困難な時期をどの様に乗り切ればよいかを考えるのが本委員会の目的
- ・ 現在の IODP が置かれている状況を再確認した

### 2. 乗船研究関連

事務局より資料 2-1 に基づき、下記の点について報告がなされた。

#### ・NanTroSEIZE 2 航海募集結果

- ・ 319 は 6 名の応募があり、追加で 2 名の応募がある予定
- ・ 319 の乗船枠は 6～8 名
- ・ 322 は 11 名の応募があり、現在、掘削航海専門部会でランキング中
- ・ 今後、役職については事務局で統一した表記に直して IO に提出する

#### ・その他航海

- ・ 320 (PEAT, 3 月～5 月): 掘削に向けて準備進行中。阿波根氏の代わりに西氏が Co-chief となった
- ・ 321 (PEAT/Juan de Fuca, 5 月～7 月): 3 人 (西氏、鈴木氏、山口氏) の代わりの乗船者が必要
- ・ 323 (Bering Sea, 7 月～9 月): 以前招聘された研究者に Invitation が送られた
- ・ 324 (Shatsky, 9 月～11 月): 2009 年 1 月 9 日まで募集中。Co-chief は東大地震研の佐野氏
- ・ 317 (Canterbury, 11 月～09'1 月): 準備待ち
- ・ 318 (Wilkes Land, 1 月～3 月): 準備待ち
- ・ 313 (New Jersey, 5 月～8 月): 日本枠推薦で招聘されているのは 2 名 (このうち 1 名は韓国人)。4 名の追加募集を行う予定
- ・ 325 (GBR): 日本枠の 1 つを使い、年代決定を行うオーストラリア人を招聘

#### ・Asian Participation について

- ・ 日本枠を使用して日本国外機関に所属する人 (日本国内機関に所属を持たない) が乗船を希望する場合は乗船時に一時的に日本国内の機関に所属することが条件の一つとなる
- ・ 個人での応募ではなく、各国のナショナルオフィスなどを通じて応募してもらう
- ・ 旅費は J-DESC では負担しない (応募してくるナショナルオフィスが負担する)

#### 関連項目

- ・ Exp. 322 には台湾所属の日本人から応募があったが、Asian Participation の範疇にはなく、応募者が乗船時に日本の機関に籍を置けるという条件付で、通常通りの Application として取り扱う
- ・ 事務局でインドのナショナルオフィスの連絡先を把握する

### 3. 学術交流関連

#### ・日・独掘削科学研究交流推進制度の開始について〔川幡部会長〕

川幡部会長より資料 3-1(1)、3-1(2)に基づき、標記の件について説明がなされた。

- ・ 若手 (37 歳以下) を対象にグループまたは組織として行う掘削科学研究に寄与してもらうために行う制度
- ・ 掘削科学研究に寄与する学術交流として解りやすいように、J-DESC の傘下で行うこととした
- ・ J-DESC としては上限 40 万円の補助を行う予定
- ・ 次の会計年度までには 1 名ずつの交流をするのが望ましい
- ・ グループの研究かどうかについては執行部にてその都度検討を行う
- ・ 英文についてはもう一度確認してメールを事務局に送る

#### ・J-DESC コアスクール\_2 コース企画案承認〔池原委員〕

- コア解析基礎コース
- コア同位体分析コース

池原委員より資料 3-2(1)、3-2(2)に基づき、標記の件について説明がなされた。

- ・ 現在予定している日程から少し遅らせて開催するかもしれない
- ・ 基礎コースと同位体分析コースに連続して参加する際も援助は 10,000 円である旨を募集時に明記する
- ・ 両コースの予算について異論はなく承認された

・成果公表助成の開始について〔川幡部会長〕

川幡部会長より資料 3-3 に基づき、標記の件について説明がなされ、下記の点が合意された。

- ・ 助成を受けた論文については印を付ける(ウェブページ上)
- ・ IODP のデータおよび資料に基づき執筆され、出版または出版予定の論文 1 本につき 1 万円の助成を行う
- ・ 乗船者は 1 万円、筆頭であれば 5 千円それぞれ増額する(乗船者で筆頭著者なら 2 万 5 千円の助成を受けることが出来る)
- ・ 過去の航海にさかのぼって助成を行う(別途乗船者にはメールで通知する)
- ・ 予算 40 万円は次年度に繰り越すことが出来るようにする
- ・ 執筆経費 5 万円の補助については予算上厳しいため、除く
- ・ 今年度の審査委員は川幡部会長と山本委員
- ・ 実施要領を修正し、メールにて執行部に回覧後最終承認手続きを行う

・JPGU レギュラーセッション「地球掘削科学」について

井上委員より追加資料に基づき、下記のように説明がなされた。

- ・ セッション開催時に重複を避けるセッションを 27 日までに選定する
- ・ 火曜日にセッションとタウンホールミーティングを同時開催することを考え、縛りを少なくするために重複を避けるセッションの登録は最小限にする
- ・ 重複を避けたいセッションは「巨大地震発生体の科学」、「関東アスペリティ」、「オフィオライトと海洋リソスフェア」、「海洋底地球科学」の 4 件
- ・ 「巨大地震発生帯の科学
- ・ タウンホールミーティングと地球掘削科学のポスターセッションの重複を避けるため、ポスターセッションを昼の時間帯にずらし、午前のオーラルセッション時に各関連セッションから案内してもらう

#### 4. 普及広報関連報告

・IODP 普及キャンペーンの今後の開催予定について〔事務局〕

事務局より資料 4 に基づき、標記の件について報告がなされ、下記の点が合意された。

- ・ 今年度のキャンペーンは追加で開催しない
- ・ 今後はやり方を変えることも検討する

・ISSM 2008 展示報告〔事務局〕

事務局および山本委員より下記のように報告がなされた

- ・ 11 月 17 日～21 日に静岡大学にて開催された
- ・ IODP ブース出展費の一部として 10 万円 J-DESC より出費した
- ・ およそ 230 名の参加者があった(日本人が約 130 名)

#### 5. Domestic INVEST WS 関連〔川幡部会長ほか〕

・テーマ別 WS 開催準備状況

・全体 WS 開催について

資料 5-1 に基づき、川幡部会長より下記のように説明がなされた。

- ・ 5 つのテーマでそれぞれワークショップを開催する
- ・ テーマ別の WS では、今あるテーマを発展させた形で次に何がやりたいかについて、および、ISP に載っていない全く新しいサイエンスを区別して挙げてもらうことを各 WS にお願いしている
- ・ 1 月 12 日では各 WS から報告をしてもらう
- ・ 最終的に 2 月 15 日の全体ワークショップではテーマ別 WS で挙げた提案のうち 4～5 つほど日本が主導して行いたい提案について全体の意見として取り上げる
- ・ そのうち 1～2 件程度を「ちきゅう」で行う提案として組み込む
- ・ 全体 WS の発表者には旅費を支給する予定

#### 6. その他

・会員提案型活動経費 制度のあり方

事務局より標記の件について下記のように説明がなされた

- ・ 応募が少なく、今年度の応募・採択はニューイヤースクールのみとなっている
- ・ 本件については改定案を審査委員会と検討することが事務局に要請された

・IODP 応援メッセージ送付報告

事務局より資料 6-1、6-2 に基づき、事務局より説明がなされた

- ・ 改訂した最終文案を事務局より執行部に送り、最終承認を取る
- ・ 承認後、IODP E-News や各 PMO を通じて配信

・J-DESC 経費執行状況について〔事務局〕

事務局より標記の件について報告がなされた

- ・ IODP 部会の広報活動費が 10 万円余っている
- ・ 成果助成に補てんすることもできる

・J-DESC 定例総会について

- ・ 開催時期について 4 月第 1 週の土曜日に開催することを陸上部会に提案する
- ・ 場所は JAMSTEC 東京事務所

・ニューイヤースクールについて

- ・ 1 月 10 日、11 日に開催
- ・ 現在参加申込受付中(12 月 10 日締め切り)
- ・ 宣伝をお願いしたい

・次会執行部会日程 等

- ・ 1 月 6 日(火)に開催